

基本的教科書 BETTER RUGBY からの再出発

ラグビー関係の書物は数多く出版され、雑誌も広くよまれています。プレーや作戦についてだけでなく、広く基本的なことが書かれている教科書と問われると指摘するのに困ることがあります。そんな時は、内容が普遍的で、分かり易く、世界的に多くの国で翻訳されている RFU 発行の BETTER RUGBY をとりあげることになっています。推薦理由と併せて訳者としての責めも感じますので、改めて、基本的と言われる理由や日本語版出版の背景について簡単にまとめて内容の理解に役立つ資料の一つになればと思っています。

1. 現代ラグビーの進化発展に対応

1960～1970 年にかけて世界のラグビーは著しい「進化」をとげました。日本のラグビーも着実に普及発達をとげていました。ラグビー人口も目覚ましい増加していましたが、新しい流れにたいして、現代ラグビーの動きキャッチし取り残されないための努力が急務になりました。技術委員長であった星名泰先生をリーダーとしてその活動に着手されました。

情報の収集から書物の選択へと進み、何はともあれ RFU から指導書を取り寄せ最も重要なものとして RFU で 1966 年に発行された The Guide for Coaches の早速翻訳することが決まり、数人のグループで翻訳が始められました。

並行して次の 4 種のハンドブック；

- ・ THE ART OF REFEREEING
- ・ WHY THE WHISTLE WENT
- ・ THE BASIC SKILLS IN RUGBY FOOTBALL
- ・ COACHING RUGBY FOOTBALLERS

の翻訳もすすめられ 1966 年末に発行されました。

同時に協会の指導組織の確立と国代表チームの結成強化が計られました。それらの成果が実を結びラグビーブームの実現をみるにいたりしました。

以上の冊子による普及発展の後をうけて、広く基本的教科書なるものの必要性が痛感され BETTER RUGBY が出版されました。ラグビー王国イングランドの復活とグローバルな普及をめざした The Guide for Coaches 1966 の充足を図るもので、1974 年に初めて配布された Coaching Scheme や、1974 年に誌名を変えて復刊された RUGBY POST (現在は RUGBY WORLD に再び戻っています)とも連動し一環をなすものであり、コーチ検定試験の課題図書でもあります。日本でも基本的教科書としての権威と普遍性が問題となり、いくつかの候補があがり、1973 年に RFU 発行のベターラグビーが適当という結論になりました。翻訳途中であった拙訳が検討の対象となり、星名泰先生監修の元で出版の運びとなりました。

2. 単純化と key factor

ラグビーそのものを単純化することにより、既成観念からの脱却を図っています。プレーも分析し、単純化・段階化して累進指導の重要性を説いています。冒頭の 1 項初めに「ラグビーは簡単な競技だ」という言葉に注目しなければなりません。

ラグビー用語の採択にも注意がはらわれています。その翻訳に当っては、原語の意味だけでなく、ラグビーの歴史やプレーの変遷が検討材料になったことはいまでもありません。原語をそのままにする場合と、意識するものとの区分けは難しい作業でした。例えば新しい用語「コンタクト」などもどう日本語にかえるか議論されましたが、原語のままになったのは、グローバルイズムによるものです。

グリッドシステムについても重要視していることも忘れてはならないことです。この方法は単に一つの練習法ではなく、練習法の基本形として提示されています。グリッド(格子形)の各辺をゴールライン、タッチライン、タッチから 5m ライン等々それぞれの意味を持たせて作り、フィールド内の位置によって異なる局面でのプレーを練習の効果をたかめるものです。その局面を繋いで組立てたものがゲーム全体の筋となるのです。これは平素の練習の方法も示唆しています。広場の広さによって工夫が必要ですし、芝生の必要度によって芝生の広さが狭いもので充足できます。この点については、イングランドのコーチ検定の問題にもなっていて、必須テキストとされています。それぞれの技能について key factor が明示され、コーチの役割が教示されているのも使い易い理由で、指導法の教示とともに、コーチにとっても有用且有効な教科書です。

BETTER というものは、BEST があるのかという疑問に対しても議論されました。had better という用法は best との関係を用いるものではないように、内容的には、ベストの一段階下のベターではないという理解をもとに、元の状態からベターを目指す過程においてベストと結果得るこ

とがあるだろうし、ベターをベストにする flairこそプレーヤーの楽しみであるという筋道をまとめました。そして他の協会発行書物との一貫性と一環性も確認されました。これらの筋道を理解し、内容の深さを認識することがこの本を活用するのに欠くことのできないことです。コラムの標題を「BETTER RUGBYからの再出発」としたのは、この本からの再出発という意味と、少しでもよいものを目指して着手することが大切であるという意味も含めたものです。

3. チームづくりの指導理論念

グループづくりについて次のように説いています。

「1番背の低い者と高い者を両端の基準になるものとして立たせ、残りの者を、その間に身長順になるように一列に並ばせる」

その過程において次の事柄の学習を要点にしています。一列することから学ぶ。

- ・体格の色々な人がいる（多くの人と一緒に）
- ・誰とでもグループをつくる（分け隔て無く）
- ・一人一人の位置・立場の認識を自然に
- ・プレーヤーたちの規律が自然発生し保たれる
- ・チーム作りで（team building）はグループの中で一人一人の自覚
- ・プレーヤーがチームのためにどうすればよいか教えている（for the team）

一列に並ばせて番号をかけさせることから、自分の位置の自覚を生み、団結協力への人間関係構築への営みが、チーム作りの土台としています。ゲーム作り（game making）はプレーとプレーの組立てることで、同じ作るであっても build と make を意識して使い分けることを指示しています。

子供の写真については、そもそも初心者用の教科書と思われがちですが、そうではありません。初心者用の教科書のようなのですが、そうでないという確答と推薦の言葉を聞いています。純粹で白紙の状態にある子供を絵の対象にすることは、単純化と取組やすさという課題に込けるとともに、型にはまった大人も改めて子供に教えられることも多いことを教示するものです。

スポーツは、楽しいことが第一で、その為にも楽しく走ること第一であることがビデオでも強調されています。ラグビーは simple な競技で、ボールを縦と横に展開するための scanning と、自由奔放な発想 flair と活動が競技の本質として提示しています。そして、チーム全員の協力を目標の第一におき、always on the ball との理念を説いています。

指導の基本に係わる考え方として、技術や作戦善し悪しを主題にした指導書ではなく、指導の基本精神が基盤になっています。技術の内容も基本的なもので、教材を提示 pill することによってプレーヤーの技能を引き出す educate が主眼になっています。しかも段階的指導の重要性がとがわれています。

5. 改定版 EVEN BETTER RUGBY

発行後、小さな改訂をしながら発行から10年経って改定されました。これは始めから予定されていたということですが、EVEN BETTER RUGBYが改定発行されました。ルールの改訂がその主な理由ですが、それ以外に特筆すべきことをとりあげておきます。

・その1 体格の写真 2人から4人へ

普及指導の原点を示す体格を並べた写真が、2人から4人になり、表紙2枚目にだされたことの意味は非常におおきい。改定の先年、Don Rutherford がJRFUの招きで来日し京都を訪れたとき、この点について力説しましたが、RFUの普及への意欲と努力の程を認識しました。ラグビーはいろいろな体格の人がそれぞれに楽しめる競技なのです

・その2 NZに学ぶ

初版出版後、意味グランドチームはNZとの対戦で劣勢にまわり、研究をした。例えばラックを組むという感覚から、相手を押し込み、ボールを後ろへ残す leave という感覚を理解からラックの先方の進化をはかりました。ハンドラックという観念も問題になくなりました。しかし、捕まって倒れない状態からボールを置くプレーは寝込むプレーよりもっと大切有効なものであることは言うまでもないことです。ルールの変更を始め世界のラグビーはRFU中心に動いているといえましたが、RFU100周年を期にIRB主導のムードができあがり、改定にもその流れの中のもので、研究の価値があります。

6. 結びと付記

EVEN BETTER RUGBYは日本でもコーチ養成委員会のテキストにくみこまれて活用されていますが、以上の知識をもって、それらの理解と認識のもとに、より有効に活用されることを願っています。参照資料としてRUGBY POST No.12に掲載された寄稿した拙文を転記しておきます。

*Some points from a long letter from
Yoshiyuki Nishikawa*

A Japanese point of view

Dear Editor

I translated 'Better Rugby' into Japanese and believe it is the best basic text book. 'Better Rugby' written in Japanese was published by Japan Rugby Football Union in 1975. When I translated it, I had read it many times. I found it very valuable and useful for all teachers, coaches, and players. And after translating I emphasized the excellent points and wrote important points like following:

It is the aim and wish for Rugby players to play good games and enjoy Rugby. 'Better Rugby' is the text book which shows the way to the good game. The good game is also joyful for players, referees, and spectators.

You will read on the first page: 'Rugby is the simple game.' The pictures in it are what young players are doing. So you may think it is only for young players. But 'Better Rugby' is not only for beginners, but also all players of all levels.

Now I will tell you some important points.

Simplification of Rugby

It is important to simplify the Rugby game at the beginning to teach. If you tell about laws, you should make players learn first the fundamental ones. And it is necessary and effective to tell four principles of the game — Go forward, Support, Continuity, Pressure.

Coaching begins after teaching

You should not only encourage players. You

have to teach so that players can understand and have hope. Praise is one of the best motivations.

There are many useful key factors in 'Better Rugby'. Remember and use them. Popularity and development of Rugby depends most on the teaching and coaching in the school. Teaching and coaching must be done progressively as planned. You can't wish success without preparation. Before you teach to play XV Rugby, simple games are very effective.

Think about 'Contact'

The word 'Contact' is not the same as the word 'touch'. Contact is used in wide meaning. 'Better Rugby' has an independent chapter because it is very important. You must recognize the importance of contact play in the game. Ruck/Maul are the play to go on with the game. You can be able to keep and feed the good ball by forming Rucks/Mauls well.

Basic Skills

You should begin to study from individual basic skills. As concerns unit and team play it is most important for players to act as one group under same thinking about the place in the field, gain line, tackle line, and so on.

Let's watch good games

Let's tell stories of past good games and good players. You can watch past good games with films.

Yoshiyuki Nishikawa